

使ってもらって学ぶフィールド指向システムデザイン

Field Oriented System Design Learning by Users' Feedback

町内会グループ (A) Neighborhood Association Group (A)

1014120 永井陽太 Yota Nagai

1 背景

陣川あさひ町会は参加者が 1000 人にもなるイベントを開催するなど積極的に活動している町会である。しかし、その反面イベント開催に関して以下の問題が存在する。1 つ目はイベント情報の投稿に 2 つのツール (Facebook と LINE@) を利用しているので手間がかかるという問題である。2 つ目は町民のイベントへの参加申し込み方法が 3 つあるので、町会側での参加者管理作業に時間がかかるという問題である。3 つ目はイベントに関する緊急連絡 (例えば悪天候による中止の連絡等) が迅速に行えていないという問題である。

2 目的の設定と到達目標

本グループでは「陣川あさひ町会のイベント開催に関する問題を解決するアプリケーションを開発する」ことを目的と設定した。そのため我々が開発するアプリケーションには以下の機能を搭載することとした。

- 役員によるイベント発信機能。
- 町民によるイベントへの参加申し込み機能。
- 役員による緊急連絡機能。

そして、私個人の課題・目標として以下があげられる。

- 課題
 - － ハイブリッドなアプリケーション開発の経験、知識が無い。
 - － 開発に利用する HTML5, CSS3, JavaScript に関する知識が無い。
 - － バージョン管理に利用する git/github に関する知識が無い。
 - － 大勢の人の前での発表経験が少ない。
- 目標

- － monaca によるハイブリッドアプリケーション開発が出来るようになる。
- － HTML5, CSS3, JavaScript でアプリケーションを開発出来るようになる。
- － 開発におけるバージョン管理の為に git/github を適切に利用できる様になる。
- － 大勢の人の前での発表経験を増やす。

3 課題解決のプロセスとその結果

ハイブリッドアプリケーション開発に関する知識と github に関する知識を獲得する為に、「クラウドで出来る HTML5 ハイブリッドアプリ開発」[1] と「github 実践入門」[2] と 2 冊の書籍で学習した。知識を定着させるために、実際に HTML5 と CSS3 と JavaScript を利用して開発を行い、github を利用し開発中のアプリケーションのバージョン管理を行った。また、大勢の人の前での発表経験を積むために中間発表で後半のプレゼンターを担当した。

4 今後の課題

ハイブリッドアプリケーション開発と git/github によるバージョン管理の知識がまだまだ不十分であるので、実践を通して知識を身につけて行きたい。また、発表経験がまだまだ少ないと考えられるので機会があれば積極的にプレゼンターに立候補する。

参考文献

- [1] 永井勝則. クラウドで出来る HTML5 ハイブリッドアプリ開発 Cordova/Onsen UI で作る iOS/Android 両対応アプリ (Monaca 公式ガイドブック). 翔泳社, 2015.
- [2] 大塚弘記. github 実践入門 Pull Request による開発の変革. 技術評論社, 2014.